

鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第 33 号

発行 2017 年 11 月 25 日

発行人 中村 晃

人生のメモリアル作り ②

坂本 正志



定年を基に人生のメモリアル作りとして、四国 88 カ所を徒歩にて廻る四国遍路を計画し、63 才からスタートし前回の鐘華会九州支部だよりにて、前半の取り組み状況を報告させて頂きました。

今回 part2 で後半の遍路だよりを紹介しします。

徳島県は発心の道場と言われ、次の高知県は修行の道場、そして愛媛県は菩提の道場、最終札所の有る香川県は涅槃の道場と言われている。

part1 では、徳島県に位置する 1 番札所（霊山寺）からスタートし高知県の札所 16 カ所をクリアーし愛媛県に入り、59 番札所までの状況を紹介させて頂きました。

（日数 29 日、歩いた距離 84.8km 29km/日、延歩数約 130 万歩、4.4 万歩/日）

前半では 59 番札所（国分寺）で打ち終え、後半に 60 番札所（横峰寺）から再スタートを 5/30 に開始した。

横峰寺は標高 745m の位置に有り、整備された山道を登って行った。緑に囲まれた道で、静けさの中、小鳥の囀り大きく聞こえ、空気的美

味しさを感じ、生きている幸せ、歩ける幸せを痛感した。

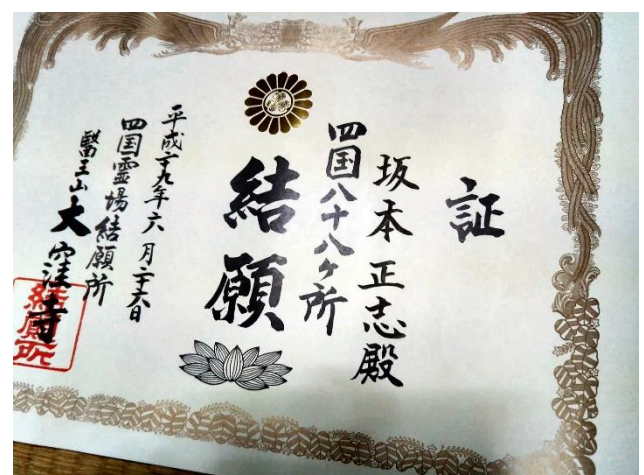
遍路の楽しみは、地方の宿でのグルメと人の人情、自然とのふれ合いを感じ歩く苦しみも感動に変化する日々の楽しみであった。

雨にも負けず風にも負けず暑さにも負けず、ひたすら次の札所に向けて前を向いて歩くのみ。

65 番札所から 66 番札所（雲辺寺標高 910m）に向かう途中、民宿岡田に宿泊した時、おかみさんが佐賀出身で福岡に住んでいたが、旦那さんの里である徳島に来たとの事。宿は川沿いに有り、夜美しい星空、川辺にはホテルが舞っている幻想的な景色を味わう事が出来た。

そんな宿から色々なおかみさんからおもてなしを受け、癒された日々であった。

67 番目に向かう途中、民宿岡田のおかみさんから紹介されたうどん屋さんに昼食を取る為入りうどんを注文時、地元のお客様から接待するとの申し入れがあり、ありがたく受けさせてもらった。





香川に入ってから、さすが空海の生まれた場所か、お遍路さんに対する接待の回数も多く、地元の人の温かみを感じる香川の巡礼であった。

人の出会いは、沖縄から北海道、又海外の人も多く、出会い時の挨拶から情報交換を行い交流を深めた。

出会いの中で、沖縄から遍路に来たという女性は野宿をしながら巡礼をしているとの事で、お寺から功德を受け、頭は髪を切り、札所に向かう途中の地像一つ一つに手を合わし、非常に印象的であった。

又、福岡から来たという大学生の男性は 30～40kg の荷物を背負い、野宿をしながら巡礼をしているとの事で、重い荷物を持ち歩き遍路、すごい修行をされているなど感じ受けた。

女性 1 人で神戸から来た巡礼されている方は、札所ではお経でなく感謝の言葉を 10 回唱えているとの事で、これもまた すばらしいな。と思った。

お遍路の終りに近い遍路交流サロンで、歩き遍路の人が受ける事が出来る遍路大使の称号を受ける事が出来、大きな励みとなった。

そして最終の 88 番札所大窪寺では、四国 88 カ所を巡礼達成の結願証を受ける事が出来、人生の大きなメモリアル作りとなった。

（ 延べ、日数 38 日、歩いた距離 1116.2km、歩いた歩数 約 170 万歩 ）

後日、真言宗本山である高野山にお礼廻りで参詣。

高野山では宿坊に泊まり、朝の朝勤行を約 60 分間受けすがすがしい空気を感じ、

お経の響きが心地より癒され、身も心も引き締まる思いが体験出来た。

食事は精進料理で、思っていたイメージより大変美味しい料理であった。

高野山は、NHK の ブラタモリ で 9 月に 3 回に分け空海テーマパークという内容で色々と紹介され、改めて凄さを痛感した。

機会あれば是非行ってほしい所であります。人生観が変わると思います。

南無大師遍照金剛

合掌



近 況 報 告 （ 例会返信 ）

（ 欠 席 ）

王寺常雄 最近は無呼吸症候群とやらで CPAP をつけながら尚睡眠不足の上、右首後が痛みやや体調を崩しております。

上野賢二 当日は所用により参加できません。

坂元 均 最近の道楽は、週 1～2 回のゴルフと月 2 回の二胡演奏音楽教室通いです。負けず嫌いなため、5 kg のバーベルで筋肉トレーニングと朝夕の二胡演奏の練習を毎日続けて 2 年になります。

小林憲二 息子の結婚式を 10 月に迎え、これで親としての責任がまた一つ安心できる心境です。今年もカネカとのシニア契約を継続し、平日は引き続き現職の日々を送り、单身生活も 19 年目。そろそろ満期に近づき、退職後庭の植木の手入れだけでは邪魔者になるかもと真剣に考え始めているところです。

西村和夫 10 月 20 日をもって九州カネライトを退職することになりました。今後の生活方針をゆっくり考えたいと思います。

永井辰夫 台風が 2 回ともそれたので稲の生育は順調です。11 月 23 日～26 日まで滋賀に行く予定がありますので、ゴメンナサイ。

武田敏光 お蔭様で元気に古希を迎えることが出来ました。

山中俊一 ようやく体調も回復しつつあります。

渡邊和憲 退職 10 年過ぎましたが元気にやっております。カネカクラブで週一の健康麻雀。谷さん、妹尾さん、柳下さん、児島さん、高塚さん、高橋（秀）さん。80 代の皆様頑張っています。メンバー 11 名中、小生が一番の若僧です。

園 博 近くの天拝山（標高 258m）の低山に孫達と登り、恥ずかしながら翌日は筋肉痛。これを機会に 1 日置きではあるが最低 1～2 時間のウォーキング開始。当面の体重 80 kg を切る（-5 kg）を目標に日々過ごしています。

成相定雄 1 日おきに定時に出勤する日々です。あと何年続くかわかりませんが、一日一日を精一杯生きたいとバタバタと過ごしています。今までは考えもしなかった仏教について、少しずつ学んでいます。

（ 出 席 ）

原 哲郎 昨年は風邪を引いて皆さんにご迷惑をお掛けしましたが、今年は万全の体調で参加したいと思っています。

薬師寺是文 小さい庭の菜園で野菜作り。スポーツジムでサウナ風呂に入り健康維持。夕食後に犬を連れて 2～3 km 散歩。時々友人とゴルフをやっています。

池野治彦 ご案内ありがとうございます。

石原晋一郎 写真・陶芸の作品作りに 15 年程経験してきましたが、「最近はその作品を高齢者・身障者等にお配りするボランティアに関係して忙しくしています。九州にはまだまだ興味を持っています。一度、出来たら展示会をしてみたいと思っています。

廣政 誠 2 ヶ月前より、小学以来はじめてスケッチを始めました。上手下手は気にせず家にある小物を 20～30 分集中して描いています。始めた動機は自分でも全く分かりませんので、いつまで続きますか？

上野與志隆 春の腰痛も癒え、趣味のゴルフを楽しんでいます。只、春夏秋、正月とお宮の祭りや手伝い、それに病院通いで結構時間を取られています。以上、ゴルフが上手にならない理由。

檜崎賢治 80 才を過ぎてだんだん足が衰えてきました。

橋本 滋 朝、晴れていたら近所の公園でウォーキング。雨が降ったら市民プールでスイミング。毎日元気で一日一日を過ごしています。

真部邦則 昨年の夏はホールインワンでルン！今年はハチに刺されてダウン。人生、色々。

市木 丞 行雲流水。自然に逆らわず平々凡々な日々です。

竹内久善 赤ヘル軍団の打線に屈し 6 連覇を逃す。ドラフト 1 位トリオの松本はレギュラー 2 勝、高橋はファーム 2 勝、田中は右肩炎症等でファーム 1 試合と期待外れ。高橋、田中は体力作りに専念か。

中村 晃 相変わらず飲み会が多く、その為にも昼間はジム通いを続けています。

平成 29 年度支部例会報告

橋 本 滋



平成 29 年度鐘華会九州支部例会は 11 月 14 日に開催された。

今回の舞台は湯の郷「別府」。世話役は大分県在住の真部邦則さん。（1 ヶ月に 3 回ホールインワンした事で有名？）



まずは別府観光。14 時に別府駅に集合。参加者は 7 名。車 2 台に分乗し「別府ロープウェイ」へ。鶴見岳山頂まで約 10 分。全山、紅葉だけど温泉地で暖かいせいかまだ少し早いようだ。山頂は霧の為視界 0。寒さもありすぐに下山。

次いで「お猿」で有名な「高崎山」へ。丁度、1 日に 1 度のさつまいもの「おやつ」の時間で、猿の大群が「おやつ」を乗せたリヤカーが坂の上からエサ場まで下るのを追いかける係員の形容通り「猿の大河」を見ることが出来て全員大いに満足。

18 時 30 分よりホテル「三泉閣」にて、中村支部長の司会で例会を開催。総勢 13 名。原会長からカネカの現状及び鐘華会の現状、更に人生 100 年時代、お互いに元気で長生きしましょうとの挨拶があった。続いて支部長より今年度の支部活動報告があり例会は無事終了。

真部さんの乾杯の音頭で懇親会に入る。「元気会席」コースで、黒毛和牛、ヒラメ、タイなど新鮮な刺身など豪華。会員の近況報告を纏めたペーパーをもとに談論風発。中締めは最近四国八十八か所の歩き遍路を達成された坂本正志さん。

更に客室で二次会。次回、春の行事は福岡で開催する方向になんとか話がまとまり散会。本当に楽しい一日でした。



H29 年秋季鐘華山九会コンペ成績報告

上野 與志隆



1. 開催日時： 平成 29 年 11 月 15 日 (水)
2. 場 所： 別府ゴルフ倶楽部
3. 天 候： 晴れ時々曇り
4. 成 績： HC 方式・成績は NET

順 位	参 加 者	成 績
優勝	上野 與志隆	70
2	廣政 誠	71
3	原 哲郎	71
4	薬師寺 是文	73
5	坂本 正志	73
6	橋本 滋	74
7	竹内 久善	75
BB	真部 邦則	79
9	池野 治彦	81

講評

- ① 別府 GC(鶴見コース)は全国でも三番目に古いゴルフ場で、鶴見岳、由布岳と別府湾を望む景色の良い高原コース。真部さんの紹介で、3組9名のコンペを行った。平均年齢83歳の長老組(キャディ付き)を挟んで、前に若年組(60歳台)、後ろに中老組(70歳台)でプレーを行った。
- ② 広々とした高原に設営されたコース。フェアウェイは畝り、傾いて、球の落としどころに注意がいる。また吹き抜けのアゲンストの風に悩まされる。グリーンもラインが読みづらく難しい。
- ③ 成績は全般的に悪いとはいえ、表の如くネットで全選手が70～81の間で激しく競り合った面白いコンペとなった。

- ④ 一組目の若年組の成績は低位を占め。只飛ばせば良いということでないことを如実に表す。
- ⑤ 特にドライバーショットの球はフェアウェイに落としても傾斜や奥行きでラフやOBへと転がる。泣きを通りこして、OB領域でのロストボールを多く拾ったことの喜びとか、パーが一つ取れたことだけで次回への期待表明に終始した。
- ⑥ 二組目、最長老の二人はお互いにキャディの有難さを身にしみて頑張るものの、前半はグリーンにたどり着くまでフラットな面でスイングすることが出来ず悪戦苦闘。後半は特にパットが冴え、最終ホールは二人ともパーで仕上げる。只一人の選手のみ、長老達をキャディに任せマイペースでプレー。グリーン周りで苦戦するも、アイアンに冴えをみせ、2つのNPを土産に見事優勝。但しハンディのお蔭が多々。
- ⑦ 三組目は中老組だが一番の実力者が揃った。彼らもやはりアゲンストの風と傾斜とうねりのあるフェアウェイに泣いた。綺麗で安定したフォームでも、ショットの球に勢いがないければ風に持って行かれ、フェアウェイに落としてもラフに転がる。しかし、リカバリーでスコアをまとめ、ボールを失わないのも流石ローハンディの証拠。
- ⑧ 今回は山九会ハンディと共にダブルペリアの成績を出したが、ハイハンディの選手から強烈な苦情があり、今後も従来通り山九会ハンディ方式で行うことにした。但し言い出しっぺの努力環境を作る措置も併せてとることにした。

以上



【 H29 年支部活動報告 】

年	月	日	活 動 内 容
29	01	25	(鐘華会全体役員会)
	02	01	(鐘華 76 号)
	02	16	支部幹事会 (黒崎)
	05	09	カネカメディクス訪問・懇親会 (11 名)
	05	10	17 回山九会 GC・古賀 GC(7 名)
	05	20	支部だより 32 号発行
	07	12	支部幹事会 (福岡)
	08	01	(鐘華会全体役員会)
	08	01	(鐘華 77 号)
	11	14	第 18 回支部例会 (別府) (13 名)
	11	15	第 19 回山九会 GC・別府 GC (9 名)
	11	25	支部だより 33 号発行

(特記事項)

- * カネカメディクス訪問、第 17 回山九会 GC は支部だより 32 号に記載
- * 例会、第 19 回山九会 GC は支部だより 33 号に記載
- * 会員の異動
川上義人さんが今年の 2 月 5 日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

【29 年度支部活動費半期実績】

項 目	28 年実績	29 年予算	半期実績
支部だより関連	14,944	15,000	5,042
例会関連	4,835	5,000	0
春の行事関連	5,142	6,000	3,661
幹事会交通費補助	4,000	4,000	0
その他	130	0	0
合 計	29,051	30,000	8,703

【特記事項】

- * 特になし

【 定例役員会報告 】

- ◇ 平成 29 年 8 月 1 日、カネカクラブにおいて定例役員会が開催された。(九州支部は活動報告のみ)
- ◇ 主な内容は下記の通り。

1. 会長挨拶
2. 中間会計報告 (省略)
3. カネカ現役社員との交流
55 才対象にした研修にカネカ OB として参加し、定年後に自分が経験したことやアドバイスを話す。生き生きとした老後を過ごしてもらうための参考情報を提供していきたい。
4. 長寿祝いの方針について
長生きされる会員が増えたため経費増になってきたため、半額程度の記念品への切り替えを検討する。次回役員会で決定。
5. カネカクラブ移転について
2019 年 3 月、古河ビルの取壊しが決定している。移転先については会長、副会長、本社支部長、クラブ世話人で検討。
6. 第 4 回カネカグループ対抗戦について
11 月 18 日に開催の対抗戦に鐘華会も参加する。
7. 各支部の活動報告と今後の予定
(九州支部として関心事をピックアップ)
(高砂) 故郷だより (会員が移住している地域での出来事や歴史を紹介)
(大阪) 退職後仕事をしている人の参加が少ない。(滋賀)
(鹿島) 支部会員数 : 54 名 会費値上げに関しては加入者減も想定されるので反対。
(本社) カネカクラブを利用した活動が活発に行われている。
(東京) 特に女性や仕事をされている人が参加できる同好会を計画。

「鐘華」編集部からのお願い

- ・ 健康増進とオススメ本の紹介
(健康増進) 健康の為やっていることや心がけていることを紹介していきます。読んで楽しくなるような話がいいので、単に「歩いている」だけでなく、楽しみも含めて歩いているなど。
(オススメ本) 影響を受けた本を紹介します。本との出会いとか、どういった点で影響を受けたかなど。
以上を紹介できる方は、中村晃まで連絡ください。待っています！！

あとがき

- ・ 坂本正志さんに四国八十八ヶ所の歩き遍路について書いてもらった。例会で久しぶりに会ったが、いつもののにこやかな顔がさらに磨きがかかり、後光が射しているように見えた。
- ・ 今年の例会は、真部邦則さんに企画してもらい大分・別府で開催した。昨年の佐賀・武雄温泉と 2 年温泉地での開催となったが、来年について現在は白紙ですので、良い案があれば提案してください。
- ・ 来年の春の行事は、坂本さんがコンサルタントをしている会社 (福岡) を訪問し、食品容器の指導及び懇親会で、翌日太宰府 CC でゴルフという方向で話が進んでいます。
- ・ 例会も終わり、今年も 1 ヶ月余を残すだけとなりました。これから寒くなるようですので、皆さん風邪などひかぬようにご自愛ください。では、少し早いですが、良いお年をお迎えください。